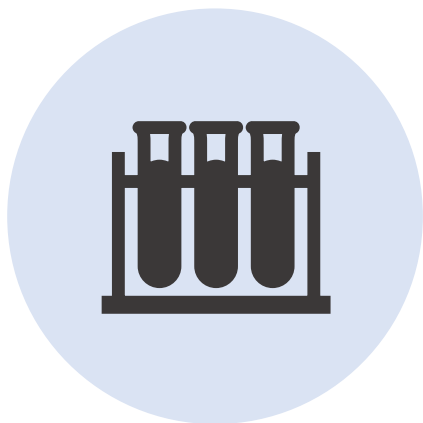


利活用可能な試料及びデータの概要

REBIND利活用推進室

利活用可能な試料及びデータの概要



試料

- ・ 患者から採取した検体試料
- ・ 分離された病原体



データ

- ・ 臨床情報
- ・ ヒトゲノム解析データ
- ・ 病原体ゲノム解析データ

本参考資料は、利活用申請書を作成する参考にしてください。
利活用推進室では、研究計画を初め申請書作成のお手伝いをしますのでご相談ください。

REBIND利活用推進室メールアドレス 〈rebind-rikatsuyo"AT"hosp.ncgm.go.jp〉
“AT”を@に変換し、送信先としてご利用ください。

利活用可能な試料

1. 血漿、PBMC（末梢血単核球細胞）、鼻咽頭ぬぐい液（鼻前庭ぬぐい液、咽頭ぬぐい液は若干）、唾液、ヒトDNA、等

検体	血液							鼻咽頭ぬぐい液 （または、鼻前庭、咽頭ぬぐい液）	唾液		
採取日 目安	入院日/診断日/同意日			3日後		7日後		入院日/診断日/同意日	3日後	入院日/診断日/同意日	7日後
調製試料	DNA	血漿	PBMC	血漿	PBMC	血漿	PBMC	未処理	未処理	未処理	未処理
量※	10-20 ug	200 ul	0.5-5.0 x 10 ⁶	200 ul	0.5-5.0 x 10 ⁶	200 ul	0.5-5.0 x 10 ⁶	200 ul	200 ul	200 ul	200 ul

※REBINDから提供される試料は原則として1回につき50症例以内、
試料の1症例あたりのおおよその提供量は上記参照。

2. 分離病原体（上記ぬぐい液、唾液等より分離）

利活用可能なデータ（提供件数制限なし）

1. 臨床情報

2. ゲノム解析結果

ヒト全ゲノム解析	・ Rawリード	FASTQ形式 要相談
	・ マッピングデータ	CRAM形式 要相談
	・ ゲノム多型データ	gVCF（Genomic Variant Call Format） VCF（Variant Call Format）
病原体ゲノム解析	・ Rawリード	FASTQ形式
	・ ゲノム全塩基配列	FASTA形式
	・ Nextcladeによる 系統解析データ	TSV形式, JSON形式

利活用の例

- ・ 臨床情報と試料を用いた研究（重症化因子、予後因子の探索、バイオマーカー探索、等）
- ・ 臨床情報とゲノム解析情報を用いた研究（遺伝要因の探索、等）
- ・ 臨床情報と病原体ゲノム解析情報を用いた研究（変異株ごとの臨床的解析、感染伝播の解析、等）
- ・ 病原体を用いた基礎研究（病原性の解析、等）
- ・ 臨床情報を用いた研究（重症化因子、予後因子の探索、バイオマーカー探索、等）